

高等学校

教科【地歴】

単元【地理総合：自然環境と防災】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

作業的で具体的な体験を伴う学習によって、地理学習の基礎的・基本的な技能を身に付けるとともに、地理学習に対する意欲を高める。

ICT活用のポイント

ハザードマップを用いて、生活圏で見られる災害の情報をまとめる基礎的・基本的な技能を身に付けることが期待できる。

使用する
ICT機器

P C、タブレット等

使用するアプリ・
クラウドサービス等

G Suite (Classroom)

重ねるハザードマップ <https://disaportal.gsi.go.jp/maps/>クラウド
の活用☒教材の配布・回収等☐資料等の共有☒生徒の学習状況の把握☐その他（ ）本時の
ねらい

【技】GISを活用し、地域の災害に関する情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。

主な学習活動
(学習場面)

I C T の活用・留意点等

評価

本時の問い「私たちのまちは、どのような災害が予想されるのだろうか」

一斉

○仮説を立てる

○調査方法を確認
する

本時の問いに対する仮説（現時点での答え）を、Classroom上の共有シートに書き出す。「重ねるハザードマップ」の使用方法を、プロジェクターで提示しながら説明する。

クラウド

ICT機器



導入



個別

○仮説を検証する



自分の生活圏で予想される災害に関する情報を収集し、検証カード（下図）を作成することで分析・整理する。＊生活圏以外の場所を調査も可

指針2

展開

場所	地形の特徴と関連 付けるよう整理
その場所では、どのような 災害が予想されるのか	●●町▲丁目 土砂災害
その場所は、どのような 地形の特徴がみられるのか	急傾斜地の 東側



協働

○検証結果を共有する



検証カードをグループ内で発表する。

終末

本時の問い「私たちのまちは、どのような災害が予想されるのだろうか」の解

作成した検証カードをClassroomに提出する。

指針3

クラウド

ここで評価

個別
○振り返り

自分の仮説がどのように変化していったかを見とることができるシートに回答（自動集計結果を授業者が確認）

【技】地域の災害に関する情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度